

特定看護分野の実務研修内容の基準
(特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況)

感染管理	1) 通算 3 年以上、感染管理に関わる活動実績（感染対策委員会、ICT、リンクナース会等）を有すること。 2) 感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績を 1 事例以上有すること。 3) 医療関連感染サーベイランス実施における一連の流れを理解していることが望ましい。 4) 現在、医療施設等において、専任または兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい。
がん放射線療法看護	1) 通算 3 年以上、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域における看護実績を有すること。 2) がん放射線療法を受けている患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来で勤務していることが望ましい。
がん薬物療法看護	1) 通算 3 年以上、がん薬物療法を受けている患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域における看護実績を有すること。 2) がん薬物療法を受けている患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) がん薬物療法薬の経静脈投与管理の実績が 1 例以上あることを必須とする。 4) 現在、がん薬物療法を受けている患者の多い病棟・外来で勤務していることが望ましい。
緩和ケア	1) 通算 3 年以上、緩和ケアを受ける患者の多い病棟、または在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2) 緩和ケアを受ける患者を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、緩和ケアを受ける患者の多い病院、または在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。
クリティカルケア	1) 通算 3 年以上、クリティカルケア部門（救急・集中治療部門等。ただし、手術室・NICU は除く）での看護実績を有すること。 2) 疾病、外傷、手術などにより高度な侵襲を受けた患者の看護を 5 例以上担当した実績（生命維持装置（人工呼吸器等）を装着した患者の看護を 1 例以上含む）を有すること。 3) 現在、クリティカルケア部門で勤務していることが望ましい。 4) 救急蘇生（二次救命処置等）に関する知識・技術を有することが望ましい。
呼吸器疾患看護	1) 通算 3 年以上、呼吸障害 ^注 を持つ患者が多い部署での看護実績を有すること。 注：COPD、間質性肺炎、肺がん、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核後遺症、非結核性抗酸菌症、肺線維症、睡眠呼吸障害等、神経・筋疾患による呼吸障害を含む。以下、呼吸障害と省略する。 2) 呼吸障害のある患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、呼吸障害を持つ患者の看護に携わっていることが望ましい。

特定看護分野の実務研修内容の基準
(特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況)

在宅 ケア	1) 通算 3 年以上、在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2) 医療依存度の高い患者の在宅における看護（在宅療養移行支援含む）を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、在宅ケアに携わっていることが望ましい。 4) 気管カニューレ管理、胃ろうカテーテル・腸ろうカテーテル・胃ろうボタン管理、褥瘡又は慢性創傷管理、輸液管理の知識・技術を有していることが望ましい。
手術 看護	1) 通算 3 年以上、手術看護分野での看護実績を有すること。 2) 手術看護における器械出し看護師及び外回り看護師としての実績を 5 例以上有すること。 3) 現在、手術室で勤務していることが望ましい。
小児 プライ マリ ケア	1) 通算 3 年以上、小児看護分野または救急看護分野での看護実績を有すること。 2) 小児患者・家族の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 人工呼吸器及び気管カニューレを装着している小児の看護を経験していることが望ましい。 4) 現在、小児の看護に携わっていることが望ましい。
新生 児集 中ケア	1) 通算 3 年以上、新生児集中ケア部門での看護実績を有すること。 2) ハイリスク新生児の生後 1 週間以内における集中ケア及び親・家族の看護を 5 例以上担当した実績（ハイリスク新生児の退院支援を 1 例以上含む）を有すること。 3) 現在、ハイリスク新生児のケアを行う部門で勤務していることが望ましい。 4) 新生児の蘇生に関する知識・技術を有することが望ましい。
心不 全看護	1) 通算 3 年以上、心不全患者の多い病棟での看護実績を有すること（その間、外来、在宅ケア部門での看護実績を含んでよい）。 2) 心不全の増悪期から回復期にある患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、心不全患者の多い病棟或いは外来、在宅ケア部門で勤務していることが望ましい。 4) 救急蘇生（二次救命処置等）に関する知識・技術を有することが望ましい。
腎不 全看護	1) 通算 3 年以上、腎不全看護分野での看護実績を有すること。 2) 腎不全患者・家族への看護を 5 例以上担当した実績（透析導入期または維持期の血液透析患者の看護を 1 例以上含む）を有すること。 3) 現在、腎不全患者の多い部門で勤務していることが望ましい。

特定看護分野の実務研修内容の基準
(特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況)

生殖看護	1) 通算 3 年以上、生殖看護領域での看護実績を有すること。 2) 性と生殖の健康に困難な課題及びリスクのある個人、家族への看護を 5 例以上担当した実績（不妊症患者の看護を 1 例以上含む）を有すること。 3) 現在、生殖看護に関連する病棟・外来等で勤務していることが望ましい。
摂食嚥下障害看護	1) 通算 3 年以上、摂食嚥下障害患者が多い保健医療福祉施設、または在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2) 摂食嚥下障害患者を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、摂食嚥下障害患者の看護に携わっていることが望ましい。
糖尿病看護	1) 通算 3 年以上、糖尿病患者の多い病棟、または外来・在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2) インスリン療法を行っている糖尿病患者または糖尿病合併症を有する患者の看護を、合わせて 5 例*以上担当した実績（外来または在宅ケア領域での療養支援を 1 例以上含む）を有すること。 3) 現在、糖尿病患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。 4) 糖尿病および糖尿病療養支援に関する知識を有し、糖尿病教室や公開講座などの患者教育を実施した実績があることが望ましい。 *10 例以上の経験があることが望ましい。ただし、教育課程への提出事例は 5 例でよい。
乳がん看護	1) 通算 3 年以上、乳がん患者の多い病棟または外来等での看護実績を有すること。 2) 乳がん患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、乳がん患者の看護に携わっていることが望ましい。
認知症看護	1) 通算 3 年以上、認知症の人の多い施設（在宅ケア領域を含む）での看護実績を有すること。 2) 認知症の人の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、認知症の人の多い医療・福祉施設（在宅ケア領域を含む）等で認知症の人の看護実践に携わっていることが望ましい。
脳卒中看護	1) 通算 3 年以上、脳卒中患者の多い部署での看護実績を有すること。 2) 脳卒中患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、脳卒中患者の多い施設等で勤務していることが望ましい。
皮膚・排泄ケア	1) 通算 3 年以上、皮膚・排泄ケア領域における看護実績を有すること。 2) 皮膚・排泄ケア領域における看護を 5 例以上担当した実績を有すること。ただし、創傷、ストーマ、排泄管理の事例を各 1 例以上含むこと。 3) 現在、皮膚・排泄ケア領域における看護を行う臨床現場に勤務していることが望ましい。